

かんじやと医療

第91号

(毎月1回
1日発行)

発行所

全国患者団体連絡協議会

東京都新宿区下落合3-15-29

〒161 田沼ビル 全腎協内

電話 03(952)5340

郵便振替東京7-36736

購読料 1部110円 1年分1,320円



「ゆたかな医療と福祉」をめざして、全国の患者運動の
総結集をと23団体85人が参加した代表者会議(6月12日)

「連絡会」スタート

「ゆたかな医療と福祉」に決意

「ゆたかな医療と福祉をめざす全国患者・家族団体連絡会」の第一回代表者会議が、六月十二日、東京・新宿区の日本青年館で開かれ、昨年末から準備がすすめられてきた同会は、全国

近の医療、福祉をめぐる厳しい情勢について詳しい報告があったのを受けて、参加各団体の代表がそれぞれ訴えを行ないました。

訴えでは「現金償還払い導入の動きには強い不安を感じている」(全腎協)、「会には患者から多くの相談が寄せられているが、最近はそののが難しい相談が多くなっている」(パーキンソン病友の会)、「労災患者への補償の打ち切りが強まっている」(全交災)、「療養所の医療費予算が削減されている」(全患協)、「治るようになったとはいっても新患者が六万人も発生しているのに、厚生省は結核難病課を廃止しようとしている」(日患同盟)など、強い不安と怒りの声が続きました。

会議では、国会請願やクリスマス集会など今後の活動計画ほかを決め、国民へのアピールを採択して、新たなたたかいの強い決意を確認しました。

(関連記事3面、7面)

おもな記事

- 2 患者の生活と処遇の実態⑩
- 3 「連絡会」代表者会議の確認事項
- 4 医療保険制度改革
どうなる？患者の治療A院長にきく
- 6 今の焦点と役立つもの
- 7 運動の交流広場
- 「連絡会」厚生省申し入れ・身障法
で厚生省と再交渉・第43回幹事会
読者のたより
- 8 「手術は地元か東京か」

国民医療費

厚生省の統計情報部が昭和二十九年以来、毎年調査しているもので、一年間に「わが国の医療機関における傷病の治療に対して支出した費用を中心に推計」している。この額には「診療報酬額・薬剤支給額のほか、健康保険等で支給される看護費・移送費」を含んでいるが、医療費の範囲を傷病の治療に限っているため「正常な妊娠や分娩などに要する費用、健康の維持、増進を目的とした健診、予防接種等に要する費用、固定した身体障害のために必要とする義眼や義肢などの費用」は含まず、医療保険で治療を受ける入院患者が負担する室料差額分などは計上しない。

ひとくち辞典

患者の生活と 処遇の実態

10

〓七・七人に一人が病人と
いわれる中で〓

今回は46転院の希望、47治療・看護の満足度、そして、48の医療保険の種類、49本人・家族の別について調査結果をみてみたいと思います。

「転院の希望」と「治療・看護の満足度」には深い関係があります。また、「不満の満足度」からみてみることにしましょう。表によりまず「満足」が四四・九%と、ほぼ二人に一人が「満足している」こととなります。以前本誌八五号に、入院中の患者の「医療・看護の状況」についての結果を載せたことがあります。その時も「満足」は四一・六%と、今回とあまり差

があまりありません。ただ、「不満の満足度」は今回が一五・五%で、入院時の二三・二と比べると約八少ないのが特徴です。入院中というの慣れがあるからではないかと思いが、しかし、それにしても「どちらともいえない」という回答が前回は一八・一%、今回は三六・七%というのは、決して好ましい数字ではありません。この数字が全部「満足」に移ってこそ、親切な看護といえるべきでしょう。医療労働組合などと話し合ってみ

る材料だと思います。

そうしたことを前提にして

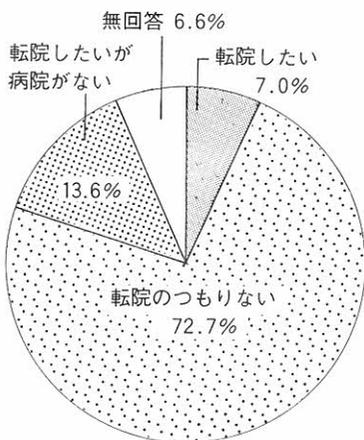
「転院の希望」をみてみます。八五号で報告したように、「転院したい」と「したくない」を合わせたものが、六三・一%と二〇・六%です。この理由は、必ずしも治療の満足度と関係はありませんが、単位団

体ではなぜかを研究する必要があります。というの

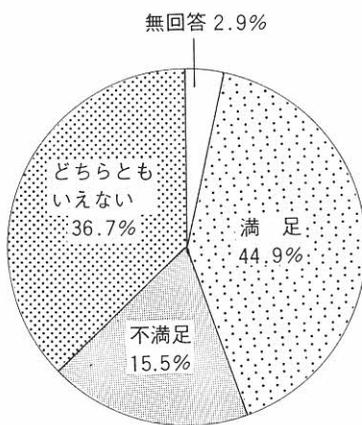
が、八五号で報告したように、転院の経験者は、六三・一%と二〇・六%です。この理由は、必ずしも治療の満足度と関係はありませんが、単位団

体ではなぜかを研究する必要があります。というの

転院の希望



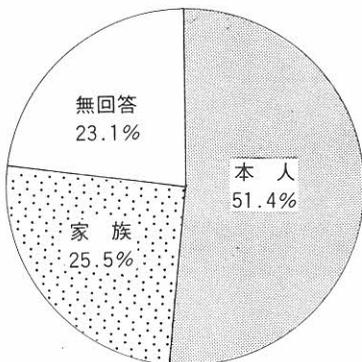
治療・看護の満足度



医療保険の種類

種類	国保	組合健保	政管健保	共済	船員保険	日雇健保
%	26.3	19.2	10.1	10.2	0.1	0.3
種類	労災保険	自賠責	その他	未加入	無回答	
%	6.4	0.0	2.7	0.9	23.8	

医療保険本人・家族の別



「医療保険の種類」

「本人・家族の別」で

「本人・

ゆたかな医療と福祉をめざす 全国患者・家族団体連絡会 代表者会議の確認事項

活動計画

- 1、「ニュース」を必要に応じて発行し、医療、福祉に関する情報、資料を加盟各団体に知らせるとともに、加盟各団体の活動も知らせます。
- 2、統一要求にもとづいて、関係各省庁への陳情活動をすすめます。
- 3、統一要求にもとづいて、国会請願署名、募金運動を行ない、国会へ請願を提出します。この運動にあたっては、全国いっせいに統一街頭署名行動を実施します。

要望事項

- ①お年寄りに病気の責任を押しつける老人保健法を全面的に改正し、すべての国民が平等に医療を受け健康を守ることができる保健制度をつくること
- ②お金がなければ病院にかれない医療費現金償還払いの採用はやめること
- ③入院給食費の患者負担はやめること
- ④軽度医療の保険適用除外やじ

世話人団体

- 4、統一要求にもとづいて、地方議会に対する統一陳情行動を行ないます。
- 5、年末の予算復活折衝時にあわせて、「クリスマス患者集会」を開きます。
- 6、加盟各団体間の相互理解を深めるために、交流の場を設けます。
- 7、全国の患者、家族団体に加盟を呼びかけます。
- 8、世話人会、事務局団体会議を必要に応じて開き、活動のすすめ方について協議します。

代表世話人

伊藤 建雄(北海道難病連)
・長 宏(全患連)

加盟団体

- ▼北海道難病連▼秋田県難病連
- ▼福島県難病連▼茨城県難病連
- ▼群馬県難病連▼埼玉県難病連
- ▼長野県難病連▼岐阜県難病連
- ▼静岡県難病連▼三重県難病連
- ▼京都難病連▼大阪難病連▼兵庫県難病連▼高知県難病連▼宮崎県難病連▼鹿児島県難病連▼
- ▼全協▼全交▼全腎協▼全国心臓病の子供を守る会▼全国多発性硬化症友の会▼全国パーキンソン病友の会▼全患協▼日患同盟▼もみじ会▼高知県スモン会▼全患連
- ⑨国立医療機関を拡充し、統廃合はしないこと(要旨)

国民の皆様へ アピール

あなたは、知っていますか。日本列島がいま、姥捨山(うぼすてやま)になろうとしていることを。

七十の坂を越えたお年寄の多くは、あの戦争の悲惨に耐え、インフレ・食糧難の苦難の時代を越え、日本の社会に貢献してきた、そういう人間として余生を安らかに送る権利があるものを。いま、「湯然たる入院は許さず」と、お年寄は病院から追われ、必要な治療も受けられな

くされようとしていることを。老人保健法！ あなたは知っていますか。医療を受ける権利において差別があつてはならないのに、「法の下で平等」という民主主義の原理まで否定して、国の責任を放棄してしまつては、核の下で「巨大な浪費」にすぎない防衛費は、歯止めをはずして肥大させていくのと正反対に、老人の生命は切り捨てられていこうとしているのを、黙ってみているのでしょうか。

あなたは、知っていますか。二年後にも、「医療保険制度の大改悪」が行われようとして

いることを。「食事は誰でも三度三度食べること」と、入院中の食事代は「仮借なくとりたて、」ピタミンは食事からとれるから」と保険薬からははずし、かぜや虫歯の治療は「軽い病気」として自費にしようとしていることを。そればかりか、「医療費の前払い立替制度」まで準備していることを。長いわずらいで生活が苦しくなっているのに、その上、立替払いの金などどこにあるのでしよう。

あなたは、知っていますか。「働いている障害者には、障害年金は出せない」と、国がひそかに準備していることを。障害者の多くは社会復帰をめざし、社会への「完全参加と平等」を果たすべく必死で努力しているのに、社会復帰を果たした途端に障害年金を打ち切られるなんて。障害者は、ハンデをもつて安い賃金で働いているのに、障害年金をもらつてはいけないのですか。「国際障害者に、老人の生命は切り捨てられよう」との理念はどこへいったのでしょうか。

あなたは、知っていますか。病み、障害をもちながら、せいっぱい生きてきそうあるべきだと願っています。いまこそ、私たちは、「日本の社会保障がどうなるのか」、「国民一人ひとりの生命と生活にかかわる問題として考え、声をあげていかなければならない」と考えます。

私たちは、病み、障害をもちながら、せいっぱい生きてきそうあるべきだと願っています。いまこそ、私たちは、「日本の社会保障がどうなるのか」、「国民一人ひとりの生命と生活にかかわる問題として考え、声をあげていかなければならない」と考えます。

国民の皆様。この国の今日と明日のゆたかな医療と福祉をめざし、きりひらいていくために、いまこそ、ともに手を結び立ちあがろうではありませんか。

あなた、知っていますか。病める者たちやお年寄、障害者が社会の片隅に追いやられ、福祉をふみにじって戦車がまかりとおり、地球より重いはずの人間の生命が、社会から「余計者」として差別され切り捨てられようとしていることを。そんな暗い社会が「明日の日本」だとすれば、あなたはそれを許せますか。長いわずらいに苦しむ私たち

一九八三年六月十二日
ゆたかな医療と福祉をめざす
全国患者・家族団体連絡会

どうなる?!患者の治療

A院長にきく

国の財政危機、その原因のひとつに医療費に公費がかかりすぎるという理由で、大がかりな医療費抑制対策が検討されています。入院患者の食事代負担、医師に診てもらった度ごとに医療費の立て替え、ビタミン剤や漢方薬も保険薬からはずす、などが検討されています。これらのことが医療にどう影響するか、A院長にきいてみました。

軽症の基準はどこで

— 軽い病気の医療費は、患者に負担させたら良いという考えがあります。これについて診療にたずさわっている立場からどう思われますか。

院長 病状が軽いか、重いかは診断した段階ですべてがわかるわけがありません。

外来の場合には一週間以内で治った場合をいうのか、医療費が結果的にみて少なかった患者について軽い、重いというのかその判断の基準が不明確で迷います。

また外来で診て、これはおかしいと疑う症状もあります。その場合にもし入院して精密検査したら、意外な症状が判明し適切な治療のために患者さんに後でよくこぼれた。しかし疑いをもちながら、外来で「はい大丈夫ですよ」といって、後でとにかえしのつかなくなったとき誰

学的にビタミン剤可否
みるべき

— ビタミン剤を保険給付からはずすといっています。その理由に、食事や野菜からもとれるものもあるといっていますか。

院長 ビタミン剤がどの病気にどう効果があるのか、という議論はたしかにあります。だからといって、いまとくに大問題になってきたのでしょうか。

病状によっては例えば、手術後のビタミンの欠乏に対する処置や、肝臓病、神経痛などの治療に食事では取れない場合、ビタミンB₁₂の補給が必須です。問題は過熱と使用することほさけるべきです。しす。

かぜへの対応慎重に

— かぜ薬を保険で使えないようにし、患者は医師の処方をもつて薬局で買うようにしていますか。

院長 待つて下さいよ。かぜと一口にいわれますがどうしてかぜになるのか、その原因は

も八十を数える程あります。

して薬局で薬を買うようになったら、かぜなのか肺炎の初期症状なのか、インフルエンザなのか、その区別なく薬を服用するようになる大変なことになるます。

医師でもかぜと肺炎を誤診することも皆無とはいえません。ましてやインフルエンザの場合、毎年その型がちがうのですから、それを病人がぐしゃぐしゃが多い、「少し熱っぽい」といつて薬局にいつて薬剤師さんに症状を話し、それでは「ベンザはどうですか」といつて症状が良くならなかったら、誰が責任をとるのでしょうか。

いつぞや肺炎をこじらせて死亡された大蔵大臣もいました。医師でもかぜの患者を診るときに、妊婦の場合、結核の既往症があるかどうか、またお年寄りの場合、みなそれぞれちがうので患者を診てから治療方法や薬や服用方法をきめます。それが医師の役目というものです。

健康が浸された人間に対して、おおよそ人権ということを考えるならば、厚生省の幹部の方々の発想は生れないと思います。薬を保険で使うかどうかということは、金額の多少にかかわらず、人の生命にかかわるこ

医療保険制度の改悪

とて、患者を一度診察すればその医師は、患者に責任を負います。医師は病名だけを患者に

治療に混乱食費自弁

—食事はどこにいても一日三回食べるのだから、入院患者の食事代は患者に負担させ

たらいといいますが、院長 食事代ぐらいは患者さんに負担させたら良いという

含まれるので、財政の前に医学を、患者に払ってもらうのか、か。その前に医学的に肝臓病、糖尿病、脳卒中、胃腸病や手術後の患者の食事これをどうしろ

償還制は病院も迷惑

—医療費を医師に診てもらった窓口に立替えて支払う「償還制」が検討されています。こういう方法を先生

院長 どの医師もそうだと思いますが、患者を診るときに二つのことを常に考えています。

法が違うのは矛盾を感じます。それでも皆保険制度になる前からみれば良くなりました。それをこんど外来で診てもらう度に、かかった医療費を一度ぜんぶ患者さんに立て替えてもら

入院している患者さんの場合、一カ月分ぜんぶ立て替え、それが本人のところにどるの

さきほどお話ししましたように、医者が患者のふところを合をうかがいながら診療するようになったら、それこそ患者さんと医師の関係はよくなりませ

こういふことについては、すでに沖繩でがいに経験があります。外来で少額の負担を立て替えて、あとで社会保険事務所に

こうした方法がけして患者さんのためにならないので、沖繩では医療費の償還制をやめたの

たび、それをこんどは国が制度としてやるなんてとんでもないことで、医師としても反対です

いまでも窓口で外来の一部負担のことで、「今日は手もちが

生命の尊重に重点を

—医療費を抑制する厚生省の一連の案は、患者に強い不安をあたえています。総論として先生のご意見はいかが

院長 医療費がなぜ増えたのか、また公費負担をへらすとい

医療を必要とする患者さんと医療を供給する医療側が十分に理解し合うよう、公式の場で話し合う機会が保障されていない

原因だと思えます。例えば食費の患者負担や医療費の償還制が実施されたら、早く医師に診てもらえば治る病気が悪化させてしまいます。こ

の時に用意してきてもらえばよいが、そうでないときに遠方からわざわざ前の分ですといつてとどけてくれるとは限りませ

国民医療費12兆8千億円に

循環系で2兆5千億円・56年度分

厚生省は六月八日、五十六年度の国民医療費の推計結果をまとめ発表しました。この国民医療費は、診療報酬、薬剤費、健保で支給される看護費、移送費などの総額で、分

この推計では、五十六年度中の国民医療費の総額は、十二兆八千七百九億円、患者負担分が一

一年間の出生、死亡、結婚、離婚など、人口の動きを把握するための「人口動態統計の概況五十七年分がまとまり、六月十八日、厚生省から発表されました。

この統計結果によると、五十七年中に生まれた子どもは百五十一万五千九百九十八人で、五十六年より一万四千五百五十七人減っています。人口千

一人当りに直すと十万人九千二百八十人で、二兆三千九百億円、百円になると報告されています。また、傷病別では、高血圧性疾患、脳血管疾患などの循環系が二・三

がん死ついに17万人を突破

厚生省・57年人口動態統計を発表

今の焦点と

役立ちもの

「特例許可外」老人病院は95

厚生省・4月末現在の状況を発表

老人保健法の施行にともない、四月一日から老人病院に診療報酬上の差別を導入するため、「特例許可」病院と「特例許可外」病院に分けるが、厚生省は四月末現在の適

用状況について六月一日に発表しました。

発表によると、医師、看護婦は減らし、介護人を置くなどして介護体制を重視した六十五歳以上の慢性疾患患者を七割以上収容する「特例許可」病院は、全国で五百四十病院

ついで、五十二年以前に設けられた基準よりさらに

中央社会保険医療協議会

(中医協・円城寺次郎会長)

は六月四日、五十六年十月に

実施した医療経済実態調査の

結果をまとめ発表しました。

この調査は、中医協が診療報酬改定の際の資料として行な

所のうち有床の個人診療所の

診療所の月間収支差222万円

結核病院は赤字・医療経済実態調査

今回の調査対象となった施設は、病院が千六百九施設、一般診療所が千六百二十六施設、歯科診療所が百八十六施設、同月の一般病院の入院当りの平均医療収入は七千三百六十八万円、医療費用は

その結果、それぞれの収支

差額は百八十二万円、二百二

十二万円、百五十七万円とブ

ラスになっていますが、結核

病院では七百六万円の赤字に

なっています。

同じ収入は八百十三万円、費用は五百九十万円、無床診療所の場合、収入は四百三十三万円、費用は二百七十六万円

などとなっています。

患者・家族
団体連絡会

「福祉切り捨てやめよ」

厚生 事務次官らに申し入れ

一面所報のように、ゆたかな 眞臣事務次官に申し入れを行な
医療と福祉をめざす全国患者・ いました。
家族団体連絡会が六月十二日正 伊藤代表世話人が、連絡会が
式に結成されましたが、この日 結成されたことを伝えることも
確認された緊急の要望事項を持 に、要望事項(三面参照)が難
つて、翌十三日、長、伊藤両代 病患者、慢性疾患患者らにとっ
表世話人をはじめ加盟団体の代 病者、慢性疾患患者らにとっ
表十九人が厚生省を訪ね、山下 て極めて深刻で切実な要求であ
ることを訴え、医療保険制度の

どうか英知を
集めている。
厚生省として
は、できるだけ
け病人にしま
よせにならない
よう努力す
るが、今の段
階では具体的
に何をどうするか決っていない。
来年、再来年といっそう敵
しい環境となるだろうが、厚生
省は基本的には本当に困ってい
る人の立場を忘れてはいけない
と、皆さんの意見もうかがって
いきたい”などと答えました。
このあと代表らは、関係各局
と個別に交渉し、医療、福祉の
切り捨てはやめるようなどと
強く申し入れました。



山下厚生事務次官(中央)に要請する長(おさ)全患連
代表幹事(左から2人目)ら連絡会の代表(6月13日)

改悪はやめるようなどと強く
申し入れました。
これに対して山下次官は、「国
は百兆円もの借金をかかえると
いうご承知のような厳しい環境
で、急速な高齢化社会を迎えて
どう対応して
いくか英知を
集めている。
厚生省として
は、できるだけ
け病人にしま
よせにならない
よう努力す
るが、今の段
階では具体的
に何をどうするか決っていない。
来年、再来年といっそう敵
しい環境となるだろうが、厚生
省は基本的には本当に困ってい
る人の立場を忘れてはいけない
と、皆さんの意見もうかがって
いきたい”などと答えました。
このあと代表らは、関係各局
と個別に交渉し、医療、福祉の
切り捨てはやめるようなどと
強く申し入れました。

運動の 交流広場

第43回
学習会

焦点の医療費問題に関心

「医学の進歩と人権」で学習会も

全患連は、身
体障害者福祉法
の改正にあたっ
ての要求を決
め、四月二十七
日、全患連からは九人の代表
が参加しました。
この日の同課の説明による
のままで終わりました。なお、厚生
省は全患連の要求については、
検討委員に配布すると約束しま
した。

身障法改正で再交渉— 「総合法」困難 「別制度で」と厚生省

日に厚生省、総理府に対し申し
入れを行ないましたが(第89号
既報)、この際に出席した同法
改正の担当窓口である厚生省社
会局更生課の対応が誠意を欠
き、不十分な回答しか出されな
かったため、同課との再交渉を
申し入れていました。
また、全患連の要求の「総合
法」という考えについては、答
への再交渉が行なわれ、同課か
ら担当の課長補佐、専門官が出
席し、全患連からは九人の代表
が参加しました。
この日の同課の説明による
のままで終わりました。なお、厚生
省は全患連の要求については、
検討委員に配布すると約束しま
した。

全患連は、五月二十七日に第
四十三回幹事会を開き、各加盟
団体の活動交流や最近の医療、
福祉の状況を話し合うことも
に、今後の活動について協議し
ました。
会議では、身障法改正に向け
ての取り組み力を入れている
こと(互療会、心臓病の子供を
守る会)や、労災補償に対する
打ち切り攻撃が急ピッチですす
まっていますので、医療費問題

められており、これとの闘いに
ついての研修会を開くこと、
今年度の学習交流会は、医学、医
術が進歩する中でこれをどう享
受するか、その際に患者の人権
はどう守られるかをテーマに八
月末に開くこと、全国患者・家
族団体連絡会代表者会議の成功
のために努力すること、身障法
改正にむけて引き続き努力する
ことなどを確認しました。



手術は地元か東京か

全国心臓病の子供を守る会 M・S

私には先天性の心臓病の子供がいます。今まで何回も肺炎を起し、入院をくりかえしていましたが、ことしの三月に二度目のカテーテル検査を行ない、五月の連休明けには手術をしようと言われました。

そして、手術の成績などを中堅の先生が話してくださいました。ですが、開設七年目の地方都市にある大病院で、うちの子と同じタイプの心臓病の手術は二年に一度くらいしかなされてお

らず、生存しているのは一人とのこと。つまり、手術成績を云々するほどやっつけないということでした。

この話を聞かされて、手術をするのは東京か、地元か、と迷っていた私もすっかり驚いてしまいました。東京の病院で手術をしようと思った。もう最悪の事態でした。

今、地元ではどこでも診てもらえない状態になってしまいました。手術は東京の病院でや

るにしても、その前に何かあったらどうしよう。手術の後もたぶん東京に通えるとはかぎりず、心配で心配でなりません。私はそんなに悪いことをしたのではありません。

でも、前向きな姿勢で手術に向けて準備しなければと思っています。娘は一歳四カ月。病氣と闘いながら、自分の細い足で歩こうとしています。きのうは三歩ふみ出しました。

全患連加盟組織

<互療会>

〒105 港区新橋5-14-12 大幸ビル2階
☎03(432)3514

<全国交通労働災害対策協議会>

〒171 豊島区西池袋1-4-5
☎03(982)7361

<全国腎臓病患者連絡協議会>

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル
☎03(952)5340

<全国心臓病の子供を守る会>

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル
☎03(256)8424

<全国ハンセン氏病患者協議会>

〒189 東村山市青葉町4-1-10
☎0423(94)1571

<全国職業性有害物障害患者協議会>

〒105 港区西新橋2-21-5
☎03-(433)2082

<日本患者同盟>

〒204 清瀬市松山2-13-12
☎0424(91)0058

<慢性一酸化炭素中毒患者会>

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5 代々木病院内

事務局から

▼参院選が終りました。与党の「安定多数」のもとで医療と福祉はどうなっていくのでしょうか▼半年間の準備を経て、

「ゆたかな医療と福祉をめざす全国患者・家族団体連絡会」がスタートしました▼「多数」の横暴に屈しないために、「多数」のちからが必要です▼「連絡会」を大きく強く育てていくためにさらに力を合わせましょう。

難病の海に虹の橋を

—— 立ちあがる人工腎透析者・難病者たち ——

前田 こう一 著

上製・定価1500円
送料250円

わが国の経済的繁栄が大きく伝えられる背後には、現代病といわれる難病が増加しています。腎臓疾患をはじめ多くの難病が、医学的にも未解決のまま、患者たちの苦しみがつづいています。

難病者たちを救うために、難病者たちが起上る姿を、著者は自からの体験とともに語っています。希望の「虹の橋」は夢であってはならないのです。

〒162 東京都新宿区市谷田町1-2 電話03(267)5422 労働経済社